

茨 剣 連 廣 報

令和 6 年 6 月 発行

一般財団法人 茨城県剣道連盟



山崎淳一先生作（節木増）

主な記事

出稽古のすすめ(水田重則).....	1	第五十一回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会で三位入賞して(武本瑠依) ...11
退任あいさつ「感謝」(齊藤克朗).....	2	ワールドコンバットゲームズで優勝して
(一財)茨剣連専務理事に着任して(倉持利夫).....	2	および世界剣道選手権大会出場に向けて(松崎賢士郎).....12
G7内務・安全担当閣僚の武道体験(高山陽好).....	3	特集 中学校部活動地域移行実施に向けて(青木 仁).....13
全日本剣道連盟有功賞を拝受して(本江義明).....	4	剣道における健康・安全について
有功賞を拝受して(村田 修).....	4	医学的立場から今注意すべきこと(林 明人).....15
段位審査合格者.....	5	コラム 女子剣道
合格者の声		主婦と仕事と剣道(石井明日香).....16
今できることを精一杯(興野聖人).....	6	一女性指導者としての思い(柴山久美).....16
居合道七段昇段と剣居一体の追求(橋本篤志).....	6	道場紹介 わたしたちの《どうじょう》.....17
剣道六段を目指して取り組んだこと(海老原一彰).....	7	県内行事予定.....19
杖道六段合格の振り返り(田中公明).....	7	事務局だより・編集後記.....21
県内・県外大会記録.....	8	※表紙 山崎淳一作女面 節木増(ふしきぞう) 能面説明 表紙裏(山崎淳一)
試合参戦記		※裏表紙 「剣道しようよ」ポスター
全国高校選抜剣道大会に男女アベックで出場して(鈴木規仁).....	11	

山崎淳一 作女面 節木増（ふしきぞう）

能面の説明

節木増は、増女のことです。増女という名前は、この面を創作した「増阿弥」にちなんでいます。この面を作成するとき、たまたま節のある檜を使ったために、鼻の左の付け根からヤニがにじみ出てシミになりました。通常なら塗り直すところですが面の仕上がりが、すばらしかったためにそのままにし、節木増という一つの形を形成するに至りました。この面を評して江戸時代に「仏道にては涅槃（ねはん）の相を表して増と云へり。」とありますように、神や仏の相の面だといいます。この面は、少し憂いのある表情が特徴で、天女や女神など品格の高い女性で用いることが多いようです。

（山崎淳一）

出稽古のすすめ



(二財)茨城県剣道連盟
会長

水田 重則

令和六年度に入り、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝で活躍のこととお喜び申し上げます。平素は当連盟の運営にご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和五年度下半期を振り返る前にまず、本連盟参与の石山陸紀先生が本年一月十五日にご逝去されました。謹んで哀悼の意を捧げたいと思います。

私が茨城県の選手として活動していた頃、先生はまだ警視庁にお勤めでしたが、稽古に伺うと必ず声をかけてくださり、県内の稽古会でも充実した稽古を頂きました。また古流の話も交えて様々なことを教えて頂き、それは今も私の大切な財産です。まだまだ教わりた

た寂しい気持ちです。心からご冥福をお祈りいたします。

さて、令和五年度下半期も茨城の剣道は様々な分野で躍進しました。第十一回全日本選抜剣道七段選手権大会(二〇二四年二月四日、神奈川県海老名市北部公園体育館)では茨城県警の海老原秀則選手が第三位に入賞、第五十一回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会では水戸葵陵高等学校が第三位に入賞しました。また、第十九回世界剣道選手権大会日本代表に茨城県から松崎賢士郎選手が選出されました。茨城県のレベルの高さを再確認した次第です。

この一年、私は予定の許す限り合同稽古会に出席してきましたが、剣道に熱く深い思いを持って取り組んでいる方が多いと感じました。今回は自分の道場を出て、こうした稽古会などに参加する機会について述べてみたいと思います。

五月の連休に京都で開催される全日本剣道演武大会(京都大会)は、武徳殿での演武のみならず県外の剣士と稽古で交流し、自身の剣道を確認する絶好のチャンスです。

私は高校教師という仕事柄異動も多く同じ道場に通うことが難しい時期がありました。またその頃は、稽古の時間を確保することも難しかったので、京都大会に行き、稽古三昧の日々をおくることとしました。期待と共に強い覚悟もあつたことを覚えています。

錬士以上の方にはまずこの京都大会出場をお勧めしたいと思えます。しかし、さまざまな理由で京都が遠いという人がいるのも確かです。また七段以上であれば東京剣道祭があります。本年四月、私も東京剣道祭に参加しました。嬉しかったのは、茨城県からの参加者が今年は大変多かったことです。例年茨城からの参加者は平均で十名ほどであるのと比較して、今年

は二十五名の参加がありました。私も茨城県の席に座り、可能な限り茨城県から参加された方の立合を拝見しました。試合形式なので勝った人も負けた人もいましたが、みな楽しそうな面持ちで席に戻って来ました。

こうした高段者向けの大会に限らず、知らない人と稽古や立合をする、この緊張感が修行の大切な

一要素でもあり、醍醐味でもあると私は考えています。

『論語』に「盤根錯節(ばんこんさくせつ)に遭はずんば、何を以て利器を別(わ)かたんや」という言葉があります。絡んだ堅い根で試すからこそ道具の真価が判断できるという意味ですが、多くの稽古や立合いが、剣道修行上の根になることは間違いありません。これを茨城県剣道連盟の会員の皆様にぜひ味わっていただきたいのです。もちろん剣道の稽古に参加するにはそのための知識が必要です。特によその道場を訪ねて稽古をお願いするには作法があります。その伝承もまた、「稽古」であると思っています。

今年、茨城県剣道連盟は合同稽古会を県内各地で開催することにしました。まだ試行錯誤の途中で県内くまなくというわけにはいきませんが、それでも県内の武道交流が進む契機になってほしいと願っています。大人が自ら楽しみ、また真剣に道を求める姿を見せることで、剣道の魅力はおのずと子どもたちに伝わります。合同稽古会で会員の皆様をお待ちしています。

退任あいさつ「感謝」



(二財) 茨城県剣道連盟
専務理事

齊藤 克朗

本年五月二十五日をもって専務理事の任を辞することになりました。役目を仰せつかった令和三年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により社会生活はもとより剣道等の活動も自粛や制限がかかり様々な対応を求められました。そのたびに会員の皆様には状況をご理解いただき連盟の問合せや要望に対して親身に応えていただきました。そのご協力とご支援に対しこの紙面を借りて厚く御礼を申し上げます。

専務理事としての三年間は激動の毎日でありましたが同時に充実した日々でもありました。特にコロナ禍での連盟創立七十周年の記念事業の開催は祝賀の宴こそできませんでしたが記念大会の開催や記念史の発刊それに記念式典での功労者表彰など本県連盟の歴史の節目にしっかりと足跡を残せたものと思っています。加えて

新たな歴史構築に向けての方向性についても連盟新規約の交布や新規事業の立ち上げなど多くの剣友のお力添えをいただいで推進することができました。また各種の全国大会での活躍も素晴らしい成果で全国都道府県対抗剣道大会での初優勝や全日本選手権での松崎選手の活躍、それに中体連や高体連の活躍など誠に立派であり大会の開催度に心躍る思いがありました。さらには百歳を迎えてなおも

元気に京都での演武披露に立たれた高崎慶男先生をはじめとする高齢者剣道連盟の活動も益々盛んになっています。こうした動きは全剣連が推奨する「生涯剣道の推進」について全国をリードする状況となっています。加えて居合道や杖道の活動の活性化も著しいものがあり正に茨剣連の隆盛期にあります。これ全て会員の工夫と努力の賜物でそれに皆様から連盟に頂きましたご厚情のお陰であると思っております。これ全て改め

て感謝の気持ちでいっぱいです。最後に、連盟の会員の皆様のご健勝でのご活躍とともに茨剣連の益々の充実発展をお祈りし退任に当たってのあいさつといたします。大変お世話になりました。

(二財)茨剣連専務理事に着任して



(二財) 茨城県剣道連盟
専務理事

倉持 利夫

この度、本連盟の専務理事に就任致しました。

ご都合により離任されました前専務理事の齊藤克朗先生の数多くのご功績に敬意を表し、心から感謝申し上げます。

その後を引き継ぐにあたり不安ではありますが、本連盟の更なる発展を目指して、浅学非才な私ではございますが、精いっぱい力を尽くす所存です。何卒、会員の皆様にはご指導、ご協力のほどお願い申し上げます。

私は、高等学校の教員として定年まで勤め、現在七十歳になります。十二歳で剣道の手解きを受けて以来五十八年、剣道を道標として公私にわたり剣道に支えられて人生を歩んで参りました。これまで教え

導いて頂いた全ての皆様之恩返しができる機会を得たと捉え、会員の皆様が活気に満ちた活動が展開できますよう努力精進したいと覚悟を新たにしております。

本連盟の目的は定款第三条に剣道理念の実践を図ることとされ、それにより心身の健全な発達や豊かな人間性の涵養、人材の育成、地域社会の健全な発展、国際相互理解の推進を実現していくこととされています。また、この目的を達成するために様々な事業を展開することが定款第四条に九項目か挙げられています。

令和六年度もこの定款に基づき活発な活動を展開していきたいと思っております。具体的には今年度の重点目標を①剣道・居合道・杖道の競技人口の拡大、②全国大会における上位入賞、③中学校部活動地域移行への対応の三点として、事業計画を立案致しました。

会員の皆様の活動が充実し、取り組んでよかったと実感できるような活動環境の実現を目指していきたいと思っております。皆様のご協力を衷心よりお願い申し上げます。

G7内務・安全担当閣僚の 武道体験



(二財) 水戸東武館館範

高山 陽好

令和五年十二月八日から十日までの三日間、水戸市で主要七カ国(G7)内務・安全担当大臣会合が開催され活発な議論が行われた。一方、会議の合間を縫って市内視察も行われ、地域の伝統文化に触れるなど市民との交流の機会も数多く設けられた。

水戸東武館には、九日(土)午後三時前にG7閣僚と随行員約七十名が視察に訪れた。岡田広理事長、小澤智館長のほか四人の門人が黒光りする道場板の間にてこれを出迎え行事が開始された。

まず小澤館長が歓迎の挨拶をした後、水戸藩校弘道館から続く水戸東武館の歴史や剣道修業の基本精神、学問と武道の両立を重んじる「文武不岐」を説明し文武不岐の文字を染めぬいた手拭を来館の記念としてプレゼントした。

続いて武道の演武披露に入り、筆者が北辰一刀流についての説明をしてから上田忠夫師範と共に当流の組太刀の一つ、真剣を使った刃引き組のうち代表的な一ツ勝、高霞など八つの技を披露した。厳肅な雰囲気の中、日本刀を切り結ぶ鎬の音のみが道場に響き渡り、G7閣僚たちは太刀の切っ先が喉元に迫る迫真の組太刀を熱心に見つめたり動画を撮影したりしていた。現代剣道の演武の披露では、剣道具の着装、竹刀の打突要領の説明の後、一本技の基本打ち、体当たりを入れた連続技、返し技を紹介し、その後門人田中榮治教士、兼子勝喜教士二人による真剣勝負の立ち合いを披露した。ヤー、メン、などの鋭い気合と打ち込みに視察者

一同が息をのむ場面も見られた。

武道体験は、門人の着装した鬼小手を面に見立て、木刀を使い中段の構えからメンという気合もろとも打ち込む技を体験してもらうことにした。G7閣僚からの希望者を募ると松村祥史国家公安委員長と英国のトム・トゥーゲンハット内務省担当大臣のお二方が即座にジャケットを脱いで参加してくれた。筆者が気剣体の一致と真っ直ぐな打ち方について簡単に指導した後に実施してもらったが、両大臣とも積極的に取り組まれ、気合の入った、動きのよい素晴らしい武道演武を実践して頂いた。見学者、マスコミの方々からは、和やかな中にも驚きの声が上がりが盛んにフラッシュがたかっていたのが印象的だった。

記念写真の撮影が行われた後に一行を見送って約三十分間の一連の視察行事は無事に終了した。十二月初旬寒い季節であったが、幸いにも小春日和となった穏やかな中で担当者として満足できる武道体験となったので安堵した次第である。今年百五十周年を迎える水戸東武館としてもその歴史に残るビックイベントとなったことは大きな喜びである。視察先に選んで下さった上に、準備万端整えて頂いた警察庁、茨城県および水戸市の関係者の皆様、要人警護に万全を期して頂いた警察の方々、そして効果的な広報をして頂いたマスコミ各社に心から感謝を申し上げます。



写真提供：警察庁

全日本剣道連盟有功賞を拝受して



石岡市剣道連盟会長

本江 義明

此度は、剣道有功賞をご推薦いただき受賞しましたことを大変恐縮しております。受賞できましたことは、諸先生、諸先輩方、剣友の皆様のお陰と感謝申し上げます。

道標の剣道に感謝

「良師に学べ」という言葉があるように、中学で高崎進先生に導かれ、「土浦日大高校で剣道を続ける」の一言で、剣道を継続することにしました。

土浦日大高校では、大祢正伸先生から、生活に反映できる剣道の指導を受け、横道に逸れることなく学びました。そして、大祢先生から、「野澤、望月という素晴らしい先輩がいるので大学は日大にしないさい」の言葉で大学進学を決意しました。そして、大学卒業後も、母校の採用試験で「縁」が結ばれました。

目標に向けた師の情熱のある数多くの稽古そのものが、将来に向けた基礎基本が育まれるのだと教えていただいた次第です。

教育剣道に没頭

部活後は生徒数人と共に大祢道場に足を運びました。師として剣道を正しく教えることは難しいということをもつて学びました。その薫育を受けつつ、昭和四八年、幼稚園時代からの友人三名で「土浦明心会」を土浦日大で創設しました。この会には、

特に藤本成一氏、渡邊義久氏のご尽力をいただきました。その後卒業生の高段者も多くなりましたが、基本を中心に教育剣道を奨励し、継続実践しています。

友に学ぶ

土浦市で、大祢、寺田、横田兄弟等や水田（現会長）、影山、村嶋氏等若い剣友との第二道場がありました。大学での指導法や割り箸をもつての剣道談義は、時を忘れて愉しく学べたことが記憶に残り、現在の支えとなっています。

昭和六十三年から卒業生の高梨友重先生を迎え、剣道に精通した施策の取り組みから、現状の指導法等を多くを学べる恩恵を得て勉強させていただきました。

剣道は健道

多くを大祢一郎先生から学びました。病気や怪我だけでなく、医仁術として健康のための剣道のことや、疲れたら面を取る勇気のこと、打つだけが剣道ではない等、心と身体そして生きるための剣道をご教示いただきました。忘れることなく研鑽しております。

場に学ぶ気づき

退職後は、石岡居住の中里誠範士から剣道の本質や理合を学び、理業一致を石岡市剣道連盟会員と共に「場に学ぶ」幸せを感じております。

また、平素から土浦日大高校卒業生からもお世話を頂くと共に、場に習う剣友としても学ぶ機会に恵まれ有難いものです。

今後素晴らしい剣道の伝承と奨励の責務を全うしていきたいと思っております。これからも、多くの先生、諸先輩方にご指導ご鞭撻をお願いし御礼の言葉とさせていただきます。

有功賞を拝受して



(二財)茨城県剣道連盟

前広報委員長

村田 修

このたび、剣道有功賞の栄に浴することができましたこと偏に、剣道連盟会長水田重則先生はじめ役員の方々に先輩方のご指導の賜物と心から感謝申し上げます。

私は大学卒業後、高校教師になり剣道部の顧問として剣道を続けてまいりました。教え子達に恵まれ、充実した教員生活を送ることができました。高体連剣道部には大変お世話になり感謝しております。定年退職を機に、当時の会長中里誠先生から剣道連盟の広報委員を命ぜられました。以来十一年間、広報委員長としての務めを果たすことができましたのは、当代の会長中里誠先生、高山陽好先生、小倉培夫先生はじめ多くの先生方のご指導ご助言のお陰です。特に、

広報委員としてお力添えをいただいた故福田幹男先生、梅村恒雄先生、糸賀睦夫先生、兼子勝喜先生には感謝の申し上げようありません。広報誌の発刊に際しましては、先生方に遠慮なく寄稿のお願いをさせていただきました。ご多忙にもかかわらず快くお引き受けくださりありがとうございました。

現広報委員長村嶋恒徳先生はじめ委員の方々に、剣道連盟広報委員会のさらなる充実と発展のためご尽力を賜りたいと思います。

令和四年にスポーツ庁から運動部活動の地域移行についてのガイドラインが示されました。教師時代、鹿島高校剣道部の顧問であった田口彌先生（元鹿島高校長）の背中を追いながら、生徒たちと汗を流していた頃には想像もしなかった取り組みです。今後は地域で活動する私たちに期待が寄せられ、責任も求められます。

受賞者としての名誉と誇りを大切にしながら、剣道のすばらしさを一人でも多くの子どもたちに伝え、剣道の裾野拡大に向けて努力して参ります。

段位審査合格者

居合道六段

期日 令和五年十二月十日
会場 江戸川区スポーツセンター
築地 貴裕 鶴岡 良造
五味 睦明

剣道六段

期日 令和六年二月四日
会場 福岡市総合体育館
竹田 壮汰

剣道四段

期日 令和六年二月十一日
会場 東日本技術研究所武道館
鈴木 善文 市川 和紀
益子 卓 織原 裕介
永森 健 益子 智成
村嶋 美波 村田 至
関口 剣斗 望月 康成
吉崎 瑛翔 齋藤 とも
山本 真生 白川 壮基
松本 要 濱田 倭希
三浦 雅貴 野上愛樹元
岩原 千佳 齋藤 涼介
榎本 遥希 茂木 浩幸

剣道五段

期日 令和六年二月十一日
会場 東日本技術研究所武道館
山口 昌彦 大石 勝隆
平野 功一 栗原 裕弥
吉川 文人 龍福 巧

神原 拓也 安田 勇介
木村 尚平 北條 愛月
鈴木 隆生 柴崎 恭平
下山田 裕香 安藤 紘士
橋 風吉 山本 真愛

剣道七段

期日 令和六年二月十七日
会場 長野市真島総合スポーツアリーナ
松島 良治 興野 聖人
赤野間 裕光 野口 成美

剣道六段

期日 令和六年二月十八日
会場 長野市真島総合スポーツアリーナ
渡部 雄介 海老原一彰
倉川 智行 松澤 秀喜
藤田 聡 高林 康之

居合道七段

期日 令和六年三月三日
会場 京都市武道センター
橋本 篤志

杖道六段

期日 令和六年三月八日
会場 江戸川区スポーツセンター
田中 公明

杖道四段

期日 令和六年三月二十日
会場 東京武道館
海野 幸江 村嶋 恒徳
五十嵐 明

剣道七段

期日 令和六年四月三十日
会場 京都市体育館
飯野 英樹 渡邊 達之

剣道・居合道・杖道称号合格者

期日 令和六年五月三日
会場 京都市武道センター
鈴木 琴子 石田 一男

居合道錬士

杖道錬士

西山 和位

剣道教士

期日 令和六年五月六日
会場 京都市武道センター
青木 宏介 田端 君代
松本 和幸 中園 博士
桐原 徹也 坏 裕志
大津 正夫 北島 訓生
名雪 幸子 中川 淳

剣道錬士

奥澤 裕希 小坂 直央
五木田 美佐代 富澤 郁江
増子 孝洋 矢口 剛
小又 成裕 長谷川 修也

剣道七段

期日 令和六年五月十一日
会場 枇杷島スポーツセンター
山野井 宏晃 保田 健一
小又 成裕 鈴木 幸男

薄井 秀子 林 明人

剣道六段

期日 令和六年五月十二日
会場 枇杷島スポーツセンター
細谷 賢司 岩田 祐一
仲川 稔 小野 伸一
和田 孝 中村 雄二

剣道七段

期日 令和六年五月十九日
会場 北海道立総合体育センター
住谷 繁 山田 裕

剣道五段

期日 令和六年五月十九日
会場 東日本技術研究所武道館
太田 公美 村松 秀樹
千野 千佳子 庄司 充
濱本 洋輔 久保 佳嗣
小山 貴大

剣道四段

期日 令和六年五月十九日
会場 東日本技術研究所武道館
横松 貢 千葉 勝弘
石塚 裕二 松本 克己
長谷川 晃央 菊地 創太
住谷 隼 伊藤 悠悟
中畑 有基 中村 日南
川井 高光 庄司 大雅
田村 龍誠 濱野 心之助

合格者の声

今できることを精一杯



常陸太田市立太田小学校
教頭

興野 聖人

二月十七日に長野にて開催された七段審査におきまして、合格することができました。指導して下さった里神館の先生方、常陸太田剣道連盟の先生方、太田一高OBの先輩方、一緒に稽古してくれた児童生徒のみなさんに、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございます。

令和五年度は、新任教頭として常陸太田市内の小学校に赴任し、今までは違った職務内容に困惑しながら日々できる事をこなしていく毎日でした。また、本校は、創立百五十周年という節目でもあり、地域の方と実行委員会を立ち上げ、記念事業として記念式典、児童の創作ミュージカルを計画しているところでした。

赴任した当時は、剣道のことなど考える余裕もなかったのが現状です。

今回、受審するきっかけとなったのは、娘や道場の子供たちが頑張っている姿を見て、忙しい中でも、できるのではないかと刺激を受けたからです。

受審を決めてからは、限られた時間の中で、「今できることを精一杯」を意識しながら、今できることに集中することを心がけました。運動ができる体を維持しようと朝夕の校舎内外の見回り等で、一日、一万五千歩を歩くようにしました。稽古は、基礎基本を大切にすることを意識し、子供たちと一緒に基本練習に取り組みました。稽古では、出頭を中心に、合気になることを意識しました。

その甲斐あって、当日は、今できることを精一杯やろうという気持ちに切り替える事ができ、自分の剣道を表現できる立ち合いをする事ができました。

今後、自分自身の鍛錬を継続し、剣道を通して社会貢献できるように精進して参ります。

今後ともよろしくお願いいたします。

居合道七段昇段と

剣居一体の追求



振武館

橋本 篤志

本年三月の京都審査会にて二回目の挑戦で居合道七段に昇段しました。師匠である振武館館長小林忠雄範士、同門の兄弟子である齋藤健一教士、全日本大会強化稽古などでお世話になった平野政弘教士、伊藤政敏教士、山崎明正範士をはじめとする先生先輩方の熱心なご指導、また多くの稽古仲間からの励ましの賜物であり、感謝しかありません。

私が受審した審査の指定業は二回とも「連盟居合一本目、三本目、五本目、九本目、十本目、十一本目」。いずれも切っ先や刃筋、軸足の使い方、足さばき、体さばきなどが連盟居合の教本で求められている通りですが、一回目の審査ではこの正確性を欠いていたと反省しております。

一方、七段審査である以上、武道としての合理性、すなわち対敵における勢い、気位、気攻め、間と間合いの攻防の緊張感や説得力も高い水準で求められます。この点、普段から師匠より厳しくご指導頂いている「剣居一体の追求。居合道は剣道のように、剣道は居合道のように取り組みなさい。手の内で斬る居合を指しなさい」を心に留め、連盟居合に加えて古流居合、さらに剣道・日本剣道形も稽古することで自然と練られていくものと感じています。振武館では、居合道の門人にも剣道の稽古が推奨されており、居合道の稽古の後に必ず日本剣道形の稽古も頂戴しますが、それぞれの角度から自分の居合道を見つめ直すきっかけとなっています。

私は、師匠の居合とお人柄に魅せられて二十年四月より振武館に移籍し、六段の部で三回、茨城県代表として全日本大会に出場させて頂きました。今後、先生先輩方から学んだことを微力ながらも後進に伝えていくと共に私自身もさらに「剣居一体」を強く意識した稽古に精進する所存です。これからもご指導のほど、よろしく申し上げます。

剣道六段を目指して 取り組んだこと



吾妻剣道スポーツ少年団
海老原 一彰

二月に長野県で行われた剣道六段審査において昇段することができました。このような結果をいただけたのは、審査に向けてご指導いただいた吾妻剣道スポーツ少年団の先生方をはじめ、これまでの私の剣道人生に関わったすべての皆様のおかげだと思っております。この場を借りて厚く御礼を申し上げます。そして何より、剣道再開を後押し、サポートしてくれた家族には心より感謝しています。

私は五段を取得した後、しばらく剣道から離れてしまい、六段審査を受審するまで実に十七年以上の月日が経ってしまいました。なかなか剣道を再開するきっかけがなく、六段昇段も諦めかけていたのですが、意外にも娘が剣道に興味を示してくれたことで、久しぶりに竹刀を握ることができました。こうして娘とともに剣道を再開することとなり、六段昇段を目指すこととなりました。

しかし久しぶりの剣道は、当たり前ですが、なかなか思うような動きはできず、怪我をしないように恐る恐る稽古をするといった状態でした。そのため、まずは体重を減らすことを目標とし、徐々に身体を戻していきました。体重を減らしたことで少しずつ動けるようになったのですが、それでも身体と気持ちが一致せず、稽古してももどかしさが残ることが多くありました。六段昇段に向け、この身体と気持ちのギャップを埋めることを考えながら稽古に取り組み、今の自分の身体に合った攻めとはどういうものなのかを模索してきました。結局その答えはまだ解っていませんが、模索し続けたことが六段昇段につながったのではないかと考えています。

これまで私は、六段昇段はゴールのように考えていたのですが、今回六段を目指したことで、自分の剣道の未熟さを痛感することができ、更なる高みを目指さなければ

いけないという気持ちに変わりました。今後もこの気持ちを忘れず、自分の剣道を模索し続け、不老の剣を目指して精進していきたいと思えます。今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

杖道六段合格の振り返り



自在庵道場
田中 公明

二〇二四年三月八日江戸川スポーツセンターで六段昇段審査があり、受審資格発生日から二年経過した四回目の受審で合格することができました。先生方のご指導をはじめ、共に稽古に励んできた仲間たちの叱咤激励を受け、その成果が実ったものと皆様方には大変感謝申し上げます。

合格までを振り返ると、一回目の受審では不合格の原因を自覚できていました。しかし二回目以降不合格の原因が自分自身では分か

らず、三回目不合格後は、色々な合同稽古・講習会等に参加し多くの先生方に自分の動きを見て頂き、ご指導頂きました。この中で四回目受審に向けて特に強化した点は以下でした。

(1) 体の軸をブレさせない
形の中でどのような体裁き、杖・太刀の打ち込み等を行っても、常に体の軸はまっすぐに保つ。

(2) 仕太刀の動きの強化
太刀の振り方、角度、間合いを詰めるときの動き、間の取り方等細かな部分までを意識。

これら強化点が合格に寄与したかは分かりませんが、自分の中では前回不合格の時点から確実に成長できた部分だと手ごたえを感じたところでした。

今後は、錬士号、七段に向けて稽古に励むとともに、杖道の魅力・楽しさを多くの人に伝えながら杖道普及に努めて参ります。

最後になりますが、ご指導を頂きました先生方および共に稽古に励んできた仲間たちに重ねて感謝申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

県内・県外大会記録

第四十六回全国スポーツ少年団剣道交流大会茨城県大会

期日…令和五年十二月十六日(日)
会場…東日本技術研究所武道館

小学生団体戦

優勝 土浦市(全国大会出場)

準優勝 常陸太田市

第三位 小美玉市、常総市

中学生男子個人戦

優勝 昆 秀馬(土浦市/全国大会出場)

準優勝 會澤日向(阿見町/全国大会出場)

第三位 松本尊琉(つくば市)

敢闘賞 栗山大諒(阿見町)

中学生女子個人戦

優勝 飯塚彩弥

(つくばみらい市/全国大会出場)

準優勝 川上心優(常総市/全国大会出場)

第三位 中川 宝(阿見町)

敢闘賞 普入佳楓(つくば市)

令和五年度茨城新聞社旗争奪

第四十一回全国選抜高校剣道大会

期日…令和六年一月四日(木)

会場…アダストリアみとアリーナ

女子の部

第三位 守谷

期日…令和六年一月五日(金)

会場…アダストリアみとアリーナ

男子の部
優勝 水戸葵陵
第三位 土浦日大
取手第一

令和五年度茨城県高等学校剣道新人大会

期日…令和六年一月十八日(木)
会場…霞ヶ浦文化体育会館

個人男子の部

優勝 星 諒介(水戸葵陵)

準優勝 飯島圭祐(土浦日大)

第三位 井関蓮太(取手第一)

松山大和(取手第一)

第五位 武本瑠依(水戸葵陵)

八幡大夢(土浦日大)

中畑竜太郎(茗溪学園)

浅野達彦(土浦日大)

個人女子の部

優勝 熊木優香(守谷)

準優勝 石井茉莉(守谷)

第三位 大谷彩葉(岩瀬日大)

井上優美(岩瀬日大)

第五位 小磯美結(取手第一)

飛知和結奈(水戸葵陵)

松本暖那(取手第一)

石井雛子(取手第一)

令和五年度茨城県高等学校剣道新人大会兼

第三十三回全国高等学校剣道選抜大会茨城県予選会

期日…令和六年一月二十五日(木)

会場…東日本技術研究所武道館

男子団体
優勝 土浦日大(選抜大会出場)
準優勝 取手第一(選抜大会出場)
第三位 水戸葵陵
茗溪学園

第五位 竜ヶ崎第一

水城

土浦湖北

下妻第一

期日…令和六年一月二十六日(金)

会場…東日本技術研究所武道館

女子団体

優勝 守谷(選抜大会出場)

準優勝 取手第一(選抜大会出場)

第三位 緑岡

水戸葵陵

第五位 多賀

鹿島学園

鹿島

茗溪学園

第二回茨城県学年別少年剣道選手権大会

期日 令和六年一月十四日(日)

会場 東日本技術研究所武道館

(小学一年生の部)

優勝 永山蒼唯(日高道場)

準優勝 永山晴人(日高道場)

第三位 吉岡侑星(芳明館)

中山嵩道(いばらき少年剣友会)

敢闘賞 深澤 凜(鬼怒西剣道クラブ)
篠崎幸翔(いばらき少年剣友会)
高崎蓮大(茨城青我館道場)
綿引 柚(二財)勝田若葉会

(小学二年生の部)

優勝 西連寺桜優(いばらき少年剣友会)

準優勝 川島心晴(いばらき少年剣友会)

第三位 岩佐 彩(猿島剣友会)

岡野 杏(一心院道場一心剣)

敢闘賞 渡邊陽仁(下館武道館)

小池琴羽(十王町武道振興会)

栢山琴春(つくば少年剣友会)

滑川帆高(いばらき少年剣友会)

(小学三年生の部)

優勝 星野滉葉(波崎修武館)

準優勝 菊地由鈴(龍士館)

第三位 影沢 怜(龍士館)

岡野武蔵(結城尚武館)

敢闘賞 糸賀将貴(逆西少年剣友会)

沓澤樹里(阿見舟鳥剣道クラブ)

楠木琉星(小川少年剣友会)

杉山和成(結城尚武館)

(小学四年生の部)

優勝 安川豪騎(二財)勝田若葉会

準優勝 高嶋俊輔(二財)勝田若葉会

第三位 七川瑛修(いばらき少年剣友会)

伊津 有(高野若葉会)

敢闘賞 田口慧瑠(芳明館)

栗原碧士(益水館)

近藤蒼真(下館士徳会)

雨谷 怜 (いばらき少年剣友会)
(小学五年生男子の部)

準優勝 雨谷 凜 (いばらき少年剣友会)
第三位 関口心羽 (結城尚武館)

敢闘賞 吉崎 瑞 (下館士徳会)
菊池脩生 (芳明館)

第二位 飯塚大河 (県警)
(副将の部/年齢二十五歳以上/警察職員・教員除く)

優勝 佐々木羽琉 (結城尚武館)

準優勝 木ノ内志栄 (一心院道場一心剣)

敢闘賞 河津華稟 (水海道剣道教室)

第一位 矢口二三也 (刑務官)

第三位 海老原旬 (小川少年剣友会)

敢闘賞 竹内 麗 (芳明館)

準優勝 小林優花 (里神館)

第二位 青木宏介 (会社員)

敢闘賞 松本輝琉 (栄剣道スポーツ少年団)

準優勝 五月女蓮 (芳明館)

敢闘賞 佐藤ほの美 (波崎修武館)

(大将の部/年齢五十歳以上/剣道教士七段以上)

前堀 咲 (結城尚武館)

(中学二年生男子の部)

橋本 華 (いばらき少年剣友会)

第一位 鍋山隆弘 (教員)

長島賢都 (小川少年剣友会)

準優勝 藤本健太郎 (いばらき少年剣友会)

川上心優 (水海道剣道教室)

第二位 山下克久 (教員)

大久保旭 (拓美会剣道教室)

第三位 前田征那 (二財) 勝田若葉会

敢闘賞 永吉優恵 (仁武館)

※(先鋒の部(高校生)一月十八日(木)茨城県高等学校剣道新人大会で決定)

優勝 野本 宙 (結城尚武館)

敢闘賞 渡邊大智 (下館武道館)

鈴木柚樹 (波崎修武館)

第一位 星 諒介 (水戸葵陵)

準優勝 雨谷仁香 (いばらき少年剣友会)

準優勝 東屋敷琳仁 (二財) 勝田若葉会

神達翔平 (鬼怒西剣道クラブ)

第二位 飯島圭祐 (土浦日大)

第三位 青木瑠香 (龍士館)

敢闘賞 湯原奏太 (巧美会剣道教室)

川口晴登 (結城剣友会)

第三十三回全国高等学校剣道選抜大会

敢闘賞 小林怜奈 (利根町剣友会)

(中学二年生女子の部)

令和六年二月十二日(日)

日時… 令和六年三月二十六日(二十八日)

君和田碧 (鹿島神宮道場)

優勝 鹿内彩羽 (運武館)

東日本技術研究所武道館

場所… 春日井市総合体育館(愛知県春日井市)

秦 柚葉 (明信館)

準優勝 水野谷綾 (運武館)

第一位 松尾瞳太 (筑波大)

(男子団体) 土浦日大 三回戦敗退 ベスト16

前田陽可 (二財) 勝田若葉会

第三位 バルザァリサ (御城館)

第二位 渡邊颯斗 (日大)

取手第一 三回戦敗退 ベスト16

(小学六年生男子の部)

敢闘賞 塩菜々実 (仁武館)

(五将の部/年齢十八歳以上三十五歳未満)

(女子団体) 守谷高校 準々決勝敗退 ベスト8

優勝 渡邊煌介 (仁武館)

準優勝 北川圭都 (いばらき少年剣友会)

警察職員・教職員・高校生・大学生除く

取手第一 二回戦敗退

第三位 師岡 歩 (いばらき少年剣友会)

敢闘賞 二瓶心葉 (猿島剣友会)

第一位 山下和真 (会社員)

第五十一回魁星旗争奪全国高校勝抜剣道大会

小林峻馬 (いばらき少年剣友会)

敢闘賞 貝塚朱里 (いばらき少年剣友会)

第二位 竹田壮汰 (大学院)

日時… 令和六年三月二十八日(三十一日)

敢闘賞 田口慈人 (二財) 水戸東武館

(中学二年生男子の部)

第一位 松崎賢士郎 (教員)

場所… 秋田県立武道館(秋田県秋田市)

大蔵 蔣 (益水館)

優勝 昆 秀馬 (芳明館)

(中堅の部/教職員・年齢制限なし)

男子団体

若林三矢 (鬼怒西剣道クラブ)

準優勝 川島大輔 (いばらき少年剣友会)

第二位 川崎俊輝 (教員)

水戸葵陵 第三位

富岡晏叶 (益水館)

第三位 野口晴大 (一心院道場一心剣)

(三将の部/警察職員・年齢制限なし)

土浦日大 五回戦敗退 ベスト16

(小学六年生女子の部)

優勝 野本 怜 (結城尚武館)

第一位 小池卓司 (県警)

優勝 木村百花 (猿島剣友会)

取手第一 二回戦敗退
 水城 二回戦敗退
 茗溪学園 二回戦敗退
 鹿島学園 二回戦敗退
 女子団体
 守谷高校 三回戦敗退 ベスト16
 取手第一 三回戦敗退 ベスト16
 常総学園 初戦敗退
 鹿島学園 初戦敗退
 茗溪学園 初戦敗退
 緑岡 初戦敗退

準優勝 波崎修武館A
 第三位 結城尚武館A
 敢闘賞 明信館A
 いばらき少年剣友会A
 鉄水館B
 龍士館A
 (一財)勝田若葉会A

第七十二回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

期日 令和六年四月二十九日(月・祝)
 会場 エディオンアリーナ大阪
 三回戦 福岡県に代表戦で惜敗
 監督 大久保 隆
 選手

(中学生の部)
 優勝 いばらき少年剣友会A
 準優勝 芳明館A
 第三位 益水館A
 いばらき少年剣友会B
 鉄水館A
 結城剣友会
 一心院道場一心剣A
 一心院道場一心剣B

令和六年度 第七十一回関東高等学校 剣道大会茨城県予選会

期日 令和六年五月六日(月)
 会場 かみす防災アリーナ

先鋒 星 諒介(水戸葵陵)
 次鋒 松尾 瞳太(筑波大学)
 五将 山下 和真(会社員)
 中堅 松崎賢士郎(茗溪学園講師)
 三将 小池 卓司(茨城県警察)
 副将 矢口二三也(東京拘置所)
 大将 鍋山 隆弘(筑波大学教員)

(男子個人)
 優勝 浅野達彦(土浦日大)
 準優勝 飯島圭祐(土浦日大)
 第三位 星 諒介(水戸葵陵)
 第四位 酒井航士朗(水戸葵陵)

第五十回茨城県道場少年剣道大会兼全国大会予選
 期日 令和六年四月二十八日(日)
 会場 ひたちなか市総合体育館
 (小学生の部)
 優勝 小川少年剣友会

(女子個人)
 優勝 釋迦郡日菜(守谷)
 準優勝 飛知和結奈(水戸葵陵)
 第三位 興野愛理(茗溪学園)

第四位 小磯美結(取手第一)
 期日 令和六年五月十日(金)
 会場 霞ヶ浦文化体育会館
 (男子団体)

優勝 土浦日大
 準優勝 水戸葵陵
 第三位 取手第一
 第四位 茗溪学園
 第五位 水城
 期日 令和六年五月十一日(土)
 会場 霞ヶ浦文化体育会館

(女子団体)

優勝 守谷
 準優勝 取手第一
 第三位 水戸葵陵
 第四位 鹿島学園
 第五位 鹿島

第十六回全日本都道府県対抗女子剣道 優勝大会茨城県代表選手選考会

期日 令和六年五月十一日(土)
 会場 水戸市総合運動公園体育館
 次鋒の部
 第一位 笠 日向子(筑波大学)

(次鋒の部代表者)
 第二位 中村 桜子(立教大学)
 五将の部
 第一位 駒田 奈都(茨城県警察)
 (五将の部代表者)

第二位 小堀 桃佳(会社員)
 中堅・三将
 第一位 北原 亜加利(医師)
 (三将の部代表者)

第二位 柴山 久美(教員)
 (中堅の部代表者)
 第三位 大谷 光代(茨城県警察)
 副将の部
 第一位 小沼 雅穂(会社員)
 (副将の部代表者)

第二位 矢口 良子(主婦)
 大将の部
 第一位 落合 弥生(教員)
 (大将の部代表者)
 第二位 鍋山 夏子(自衛官)



試合参戦記

全国高校選抜剣道大会に
男女アベックで出場して



茨城県立取手第一高等学校
剣道部 監督

鈴木 規 仁

この度、第三十三回全国高等学校剣道選抜大会に男女揃って出場することができ、剣道部として少しずつ成長していることを実感することができました。

私が赴任して三年目となりますが、昨年度から少しずつ結果が出てきました。現在新入生を含め男子十六名、女子十二名、計二十八名で活動を行っており、剣道人口が減少している中、これだけの人数で切磋琢磨できていることはすごく良い環境に恵まれていると思います。

茨城県予選では強豪校がひしめく茨城県で勝ち抜くため基本

を大切に果敢に攻め抜くことを男女とも大切にしながら稽古を積んで臨みました。予想通り非常に厳しい予選となりましたがなんとか選抜出場の権利を得ることが出来ました。茨城県の代表として全国大会に出場させてもらう以上、上位進出、そして日本一を狙わなくてはいいけないとチームの意識から成長できるように言い聞かせ、選手たちも少しずつ変わっていく様子が見受けられました。

選抜大会を迎えまず男子ですが、一回戦岡山県代表玉島高校との試合では三対一で勝利、続く二回戦、滋賀県代表比叡山高校との対戦では次鋒を落としてしまいました。中堅、副将、大将と勝利し三対一で勝利、大会二日目ベスト十六で対戦したのは福岡県代表の福岡第一高校です。0対0の大將戦を落とすという敗退してしまいました。

女子ですが一回戦、静岡県代表の東海大翔洋との試合では先鋒が一本取り一対0で勝利、二

回戦沖縄県代表の興南高校と試合では一対一本で迎えた大將戦を落としてしまい二回戦敗退という結果で終わってしまいました。女子は昨年に引き続き同じメンバーで二度目の出場だったので非常に悔しい結果となりました。

男女ともに接戦で負けてしまいました。全国の高い壁を感じました。これからこの経験を活かし新しい伝統を作り精進したいと考えております。たくさんの方々温かいご声援や激励を頂き本当に感謝致します。ありがとうございました。



第五十一回魁星旗争奪全国高校
選抜剣道大会で三位入賞して



水戸葵陵高等学校
剣道部

武本 瑠 依

三月二十七日まで行われた魁星旗争奪勝ち抜き剣道大会で三位入賞することができました。昨年は優勝という結果でした。今年も全国高等学校剣道選抜大会に出ることができなかったのが絶対に優勝するという気持ちで挑みました。しかし準決勝で敗れてしまい三位という結果となり、日本一を取ることができませんでした。

自分たちはシードで二日目の二回戦からの出場になりました。試合記録を報告させていただき。二回戦栃木県栃木高校、三回戦埼玉県蕨高校では、三年生の藤野が十人抜きでチームに流れを作ってくれました。四回

戦も大将残しで秋田県秋田南高校に勝利し、五回戦宮崎県高千穂高校にも副将の二年生酒井が相手の副将を抜き大将に引き分けて勝負を決め二日目は大将が出ることがなくチーム全体が繋いでくれ三日目の準々決勝に進出することができました。準々決勝は千葉県東海大浦安高校との対戦で相手の副将に酒井が負

けてしまい副将からの勝負となりました。二日目に前の四人が繋いでくれたので大将として絶対に負けられないという気持ちで試合に臨み相手の副将大将を抜き逆転勝利をすることができました。準決勝の佐賀県龍谷高校では相手の先鋒に次鋒まで抜かれてしまい中堅で引き分け相手の次鋒に大将の自分も反則二回で負けてしまいチームとしても個人としても反省点、課題が出た試合になりました。しかしここまで勝ち進めたのは自分たちの力だけではなく、茨城県剣道連盟の方々が応援して下さい

り感謝申し上げます。

まだまだチームとしては力不足なのでこの悔しさを忘れずにまずはインターハイ予選で絶対に優勝を勝ち取り日本一を取るために稽古に励んでいきます。これからも水戸葵陵高校剣道部の応援をよろしく願います。

ワールドコンバットゲームズで優勝しておよび世界剣道選手権大会出場に向けて



筑波大学大学院
松崎 賢士郎

令和五年の十月末、サウジアラビア・リヤドにおいて第三回ワールドコンバットゲームズが開催されました。私は日本代表選手として剣道競技男子個人戦に出場させていただきました。優勝することができました。大会では、世界各国から十六名の選手が選

抜され、トーナメント方式によって試合が展開されました。対戦した選手をはじめ、大会を盛り上げてくださった全ての方々に感謝しています。

私としては初の国際大会ということもあり、当初は様々な不安と緊張を抱えていましたが、日本の剣道を背負って戦える幸せと誇り、そして責任を噛み締めながら大会に臨みました。結果的には優勝に終わりましたが、どの国の選手も基礎基本がしつ

かりと身についており、一瞬の油断も許されない素晴らしい試合展開が続いていたことを鮮明に記憶しています。彼らの剣道に対する愛の深さを実感し、大変嬉しく思いました。試合後においても、他国選手と活発にコミュニケーションをとることができ、非常に充実した大会となりました。

次に控える国際大会は、七月にイタリア・ミラノにて開催される第十九回世界剣道選手権大会(WKC)です。まずは、幾

多の強豪選手の中から十名の日本代表選手に選出していただき、このことを光栄に思います。また、感謝の気持ちに加え、一層身の引き締まる思いでいっぱいです。

大会に臨むにあたり、コンバットゲームズで得た貴重な経験を活かし、最大限の準備に努めて参ります。大会当日では、強化合宿や寒稽古を通して着実に積み重ねてきた攻防一致の剣道を発揮し、日本選手団一丸となって戦います。

最後に、皆様の応援が我々にとって最大のエネルギーであり、心の支えでもあります。また、今大会を通して、剣道を好きになってくれる方々が世界中に溢れることを祈っております。

茨城県剣士として、また日本の代表として、そして世界剣道界のために、皆様の心温かい応援をよろしくお願いいたします。

特 集

中学校部活動地域移行実施に向けて



普及委員会
学校指導者支援委員長
青木 仁

平成三十年にスポーツ庁より「運動部活動のあり方に関する総合的なガイドライン」が通知され、令和四年に「運動部活動の地域移行」が提言されました。その根底にあるものは、「学校の働き方改革」や「日本の少子化問題」です。人口減少、少子化による部員不足については今日の深刻な問題となっています。本県の中学校剣道部員数においても例外ではなく、日本中体連の調査をもとに平成二十五年度と令和五年度とを比較すると、男子は二、一七四名（一八五校）から一、四四五名（一八四校）、女子は一、五〇二

名（一八一校）から一、一六三名（二四八校）へと、十年間で男女合わせて約三割の減少が見られる。現在も、部員数が一桁といった学校が増加し、「団体戦に出られない」「練習試合ができない」といった悩みもあります。また、中学校教諭の長時間労働の社会問題化、さらに専門指導員不足です。このような状況下での「運動部活動の地域移行」である。この施策によってこれらの問題は解決する



日本型学校体育構築支援協力者要請講習会より



私立中学の部活動の一コマ

のであろうか。中学校においては、令和五年度から令和七年度末までの三年間で、土、日の部活動の地域移行を各市町村の教育委員会、スポーツ協会が連携して、計画的に進めているところです。さて、茨剣連では、平成二十六年より文科省の中学校武道必修化を受け、専門的知識と技能を有する授業協力者を派遣すべく「授

業協力者養成講習会」を実施してきました。しかし、昨今の情勢から、令和三年からは部活動に関わる外部指導者、部活動指導員などにもその対象を広げ「学校指導者養成講習会」として講習会を実施しています。

部活動指導者として留意すること

●生徒の人格や人権、自主性の尊重
部員一人一人の個性を尊重し「剣道の稽古を通して人を育てる」。感謝、思いやり、惻隱の情を育成します。



公立中学校の顧問の指導の一コマ

● 発達段階を考慮した稽古
 剣道では個に応じた指導がで
 き、運動量、持続時間、稽古内容
 など部員の発育、発達に合わせて
 指導することが大切です。

● 事故、体罰、ハラスメントの防止
 「手段を選ばずただ勝てばよい」
 といった勝利至上主義の考えが先
 行し、威圧や腕力、思い込みや自
 分の経験のみで指導してしまい、
 暴力・いじめ・暴言などのトラブ
 ルが発生しています。また、部活
 動のOBだから、保護者だからな
 どの理由で学校に許可なく出入り
 し、トラブルになった事例、指導



公立中学校の部活動の一コマ

者が保護者や生徒と指導以外の場
 面で私的に接するなどの行為によ
 り、信頼を失うケースも見うけら
 れます。

● 生徒の心身の健康管理、事故防止
 身体ばかりでなく精神的にも疲
 労が蓄積されるといった観点から、
 中学校においては、一週間に十一
 時間以内という練習時間の制限、
 平日五日間のうち一〜二日の休養
 日が設けられました。安全面では、
 道場、剣道用具の安全管理により
 事故の未然防止に努めるとともに、
 応急処置、感染症や熱中症への対
 応などが考えられる。特に熱中症
 においては「熱中症予防運動指針」
 にそって、無理をせず、中止、延
 期できるよう柔軟かつ適切な判断
 が必要となってくる。これらは、
 命に直結することであり、安易に
 練習をすることは避けましょう。

● 部活動地域移行について

● 地域における各種団体などの活用
 地域移行については、地域にあ
 る道場・剣友会・スポーツ少年団・



地域道場の指導の様子

地域クラブチームなどが受け入れ
 先として見込まれます。地域クラ
 ブチームの中には、近隣の複数校
 が合同で活動する場合も考えられ
 ます。その中で、活動時間、活動
 場所など指導者となかなかマッチ
 しないケースもあります。各市町
 村の教育委員会、スポーツ協会等
 の支援を受け、部員の募集、スポ
 ーツ保険、登録費、指導者への謝
 金、活動場所への送迎など保護者
 の負担なども含めて整備してい
 かねばならないことが多いです。

● 大会参加について
 中体連主催の大会には、年間を
 通して、エントリーした団体から
 の出場となります。現在は一人で
 部活動、複数の団体で活動してい
 る生徒もいます。もちろん、どの
 団体においても前述した活動時間
 の制約を受けることとなります。
 どの団体に所属するかは生徒に委
 ねられることにも留意したいとこ
 ろです。

今後は、土、日ばかりでなく平
 日の部活動も地域クラブ等へ移行
 という写真になっていくようにで
 す。それらの変化にも対応できる
 よう指導者としての心構えを十分
 に養いたいところです。



剣道における健康・安全について 医学的立場から今注意すべきこと



(二財) 茨城県剣道連盟
医学委員長

林 明人

茨城県剣道連盟医学委員会は

二〇二〇年四月に設置され、今年で五年目になりました。二〇二〇年には新型コロナウイルス感染症のパンデミックが起きました。剣道を取り巻く状況も一変したことはご存じの通りです。感染症対策を含めた剣道における健康・安全の確保はこれまで以上に重要となってきました。今回、医学的立場から注意すべきことにつきまして述べていただきます。

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症はかつてない脅威を私たちに与えました。剣道においてもひとり稽古を余儀なくされた時期もありまし

た。現在収束に向かいつつありますが終息したわけではありません。全剣連での主催大会や審査会の実施にあたっての感染拡大予防ガイドラインは二〇二三年七月のもですが、現在でも剣道ではシールドあるいはマスクを装着、高齢者は重症化しやすいのでシールドとマスクの併用が推奨されています。

熱中症対策

地球温暖化にともない、日本の四季も乱れてきており春でも急に真夏日となったりすることがあります。暑熱馴化(暑さに慣れること)ができていないうちに暑くなると熱中症の危険があります。とくに指導者は熱中症警戒アラートについての情報を得ながら、水分塩分補給や面を外す休憩時間などを計画して健康・安全に留意することが必要です。例えば道場などでは子供たちや指導者の両者を守るリスクマネジメントとして対策マニュアルを作成して保護者の方にも周知してもらうことも大切です

す。これについては茨城県剣道連盟熱中症対策(二〇二二年七月)を参考にしてください。

剣道に伴うケガ・病気の対策

茨城県剣道連盟医学委員会では二〇二〇年に剣道にともなうケガや病気についてアンケート調査を実施しました(回答者数三二八名)。その結果の一部を紹介しま

八%は蹲踞ができない、九%は正座ができないという回答が特に五十一~六十代以降にあった。皆でこれらのアンケート結果を共有して、剣道での健康・安全の意識を高くしていきましょう。

『剣道における健康・安全に関する手引書』作成の提案

茨城県剣道連盟版の『剣道における健康・安全に関する手引書』を令和六年に作成することを提案します。感染症対策、熱中症対策、救急法やケガに対する対処法などについて解説し、現場で役立つような冊子を目指します。大会などでの事故や疾患の対応やケガにつながるような危険行為や非紳士的行為の防止など安全確保のために大切です。審判主任を含めた審判と救護医との連携や手順について再確認することが必要と考えます。

(十二%)、肘(十%)、手首(六%)、首(五%)の順で訴えが多かった。また、肘については右肘が左肘の三倍多くみられたことも特徴的であった。また、膝の痛みのために

以上、健康・安全を高く意識することで生涯剣道を実践して剣道を楽しんでいきましょう。

コラム 女子剣道

主婦と仕事と剣道



ひたち医療センター看護師
石井 明日香

私は小学校三年生の時に近所の同級生から誘いを受け、地元のスポーツ少年団で剣道を始めました。卒団後は土浦市にある芳明館へ入門し稽古にはげんでいます。

三年前ほど前に結婚し主人の仕事の関係で日立市へ引っ越しました。

地元道場を離れてしまう事や職場が変わる事への不安が大きく悩む事や、家庭と仕事を両立しながら剣道をする自信を無くしそうになる事もありました。そんな中でも道が続けたいという自分の正直な気持ちや、芳明館での女子の稽古に参加されている先生方・先輩方のなかにも家庭と仕事を両立しながら稽古する姿が自分の励みになり、日立市の日高道場や、仕事の休みがあえば車を走らせ土浦へ帰って稽古に行

くというかたちで続けることができています。

私は看護師として病院で働いています。急性期病院であるため、ケアや高度な医療処置を必要とする患者が多く、割り込み業務や急変対応など目まぐるしい日々です。その中でも、患者への挨拶や何気ない会話の中で「石井さんはいつも元気だね。病気の私まで元気をもらっているよ。」等と声をかけていただく事があります。剣道で教わった明るい挨拶が、患者さんに元気を与えることにもつながっていると実感し、剣道をやっているよかったです。病棟では生死をさまよう緊迫した状況や、人生の最期の場面に立ち会うなど様々なことがあります。剣道修練の心構えにあるように「信義を重んじ誠を尽くす」剣道人としての姿勢を大切に目の前の患者さんと向き合い看護をしていきたいと思えます。医学委員救護係としても活動する機会をいただき、役割を全うしていく所存です。

現在の目標は六段合格です。稽古時間を確保しながら目標に向かって日々鍛錬に励み努力していきたいと思えます。

一女性指導者としての思い



牛久市立第三中学校教諭
柴山 久美

私は、現在中学校で勤務をしています。二年目から剣道部に携わらせていただき、多忙な毎日ですが、部活動指導が私の生きがいとなっています。剣道を通して、ひた向きに努力するたくさんの剣士たち、それを支える熱心な保護者に出会えたことが私の何よりの財産です。

指導してきた生徒たちの多くは、中学生から剣道に興味をもち、初めて竹刀を握る子たちでした。教員になったばかりの頃は、勝つことでの喜びを味わってもらいたいという思いが先走りすぎていたように思います。経験が多くなるにしたがって、その初心者生徒たちに指導する中で、私の指導法で剣道の楽しさが伝わっているのだろうかと自問自答する機会が増えました。そのため、指導にあたっては、経験だけでなく継続的な自己研鑽の必要性を感じ、現在でも多くの学校に足を運ばせていただいたり、書籍を読ん

だり動画を見たりして、様々な先生方の指導法や考え方を学ばせていただいています。誰もが剣道の楽しさや素晴らしいさを感じられるような指導を目指し、私自身が日々学びながら生徒たちと接することを心がけています。

生徒たちはいつも真剣な眼差しで、多くのことを吸収しようと努力しています。技術はもちろん、心を大切にすることで、中学三年間で見違えるほど、剣士としても一人の人間としても大きく成長します。生徒たちが勝負に勝つこと以外にも、剣道を通して仲間と協力する楽しさを感じていたり、稽古後の達成感に満ちた表情を見たり、他校の生徒や地域の方々や稽古をして仲良く交流したりする姿を見るととても嬉しく、これこそが剣道の素晴らしさであると感じています。

さらに、自分の技をどう説明したら伝わるかと考えることが、自分自身の剣道を見直すことにも繋がっています。技術を言語化することで、現象の起る理由をより深く考えるようになりました。指導できる環境があるおかげで、生徒からもたくさんの学びと気づきをもらえ、自分自身も成長することができると思っています。今後も剣道ができる環境に感謝を忘れず、生徒たちとともに成長していけるよう、全力を尽くしていきます。

道場紹介

わたしたちの《どうじょう》

東海村剣友会（ひたちなか・那珂地区）

代表者 西水 亮



「礼」と「正しい剣道」の修得を目指して稽古に励んでいます。楽しい稽古、体力テスト、村・県内剣道大会への参加、剣道体験教室を楽しく行っています。



芳明館（土浦地区）

代表者 高梨賢吾



土浦桜まつり大会

四部門で優勝

茨城剣道場少年大会

中学生の部 二位

礼法と、基本の習得に重点的に取り組んでいます。



大穂剣心会（つくば地区）

代表者 鷹巢 国男



礼節を学び、忍耐力をつけ、文武両道をモットーにしています。技術的なことは気・剣・体を掲げ、足腰の強化を重視しています

みんなで力を合わせて、強いチームになれるように日々の稽古を頑張ります



至誠館朝日道場（下館・結城地区）

代表者 淀縄 寛



昭和五十五年十二月開館以来剣道の理念、道場訓に沿って約四十年間指導方針にぶれることなく少年指導に当たっています。

第二道場にて道を語り合うため五年前に露天風呂を設置しました。

仲間を大切にし困難な状況に直面した時に逃げずに立ち向かい頑張ります。



県内行事予定

月	日	曜	行 事	場 所	主 催
6	2	日	第 15 回県少年剣道選手権大会兼全国予選会	ひたちなか市総合体育館剣道場	茨 道 連
	8	土	剣道三段以下審査会 (石岡)	石岡市運動公園体育館	茨 剣 連
			剣道・杖道・居合道合同稽古会 (土浦)	新治トレーニングセンター	
	9	日	剣道三段以下審査会 (下妻)	下妻市総合体育館	
			剣道三段以下審査会 (龍ヶ崎)	牛久市総合体育館	
	13	木	全国高校剣道県予選会 (男子団体)	ザ・ヒロサワシティ体育館	高 体 連
	14	金	全国高校剣道県予選会 (女子団体)	ザ・ヒロサワシティ体育館	
	16	日	剣道三段以下審査会 (鹿島)	鹿島中学校	茨 剣 連
			茨城県居合道大会兼全日本大会予選大会	ひたちなか市総合体育館	
			令和 6 年第 1 回杖道講習会	つくば市豊里柔剣道場	杖 道 部
	20	木	全国高校剣道県予選会 (個人)	池の川さくらアリーナ	高 体 連
	22	土	剣道合同稽古会 (水戸)	東日本技術研究所武道館剣道場	茨 剣 連
			居合道合同稽古会 (水戸)	日本農業実践学園体育館	居 合 道 部
	23	日	県民総体 (国スポ) 予選会 (成年の部)	東日本技術研究所武道館	茨 剣 連
29	土	剣道合同稽古会 (県西)	八千代町総合体育館		
		剣道三段以下審査会 (水戸)	東日本技術研究所武道館剣道場		
		県民総体 (国スポ) 予選会 (少年の部)	霞ヶ浦文化体育会館		
30	日	剣道三段以下審査会 (日立)	日立製作所・日立体育館		
7	6	土	第 19 回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会茨城県予選会	ひたちなか市総合体育館剣道場	茨 道 連
	7	日	ねんりんピック予選会・全国青年大会予選会	東日本技術研究所武道館剣道場	茨 剣 連
			剣道合同稽古会 (水戸)	東日本技術研究所武道館剣道場	
			第 46 回茨城県道場対抗剣道大会兼全国予選会	ひたちなか市総合体育館	茨 道 連
	13	土	剣道・杖道・居合道合同稽古会 (土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連
			令和 6 年度第 1 回杖道三段以下審査会	筑西市シルバー人材センター	
	20	土	県民総体中学剣道大会 (女子個人・男子団体)	東日本技術研究所武道館	中 体 連
	21	日	県民総体中学剣道大会 (男子個人・女子団体)	東日本技術研究所武道館	
27	土	茨城県剣道団体選手権大会	石岡市運動公園体育館	茨 剣 連	
		居合道合同稽古会 (水戸)	日本農業実践学園体育館	居 合 道 部	
30	火	県中学生剣道団体選手権	石岡市運動公園体育館	中 体 連	
8	3	土	剣道称号受審者講習会	東日本技術研究所武道館剣道場	茨 剣 連
	4	日	居合道県外講師招聘講習会	古河イーエスはなもも体育館	居 合 道 部
	10	土	剣道・杖道合同稽古会 (土浦)、居合道合同稽古会 (土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連
	17	土	剣道同稽古会 (鹿行)	鹿島高校	
	24	土	居合道合同稽古会 (水戸)	日本農業実践学園体育館	居 合 道 部
	31	土	全日本剣道選手権大会茨城県予選・剣道合同稽古会 (水戸)	東日本技術研究所武道館	茨 剣 連
9	1	日	第 25 回茨城県ジュニア剣道大会	ひたちなか市総合体育館	茨 道 連
			居合道伝達講習会	東日本技術研究所武道館	
	7	土	剣道・杖道・居合道合同稽古会 (土浦)	新治トレーニングセンター	茨 剣 連
	8	日	居合道四段以下講習会 (前期)	霞ヶ浦文化体育会館・小体育館	
	15	日	茨城県剣道祭・剣道合同稽古会 (剣道祭の後)	東日本技術研究所武道館	茨 剣 連
	21	土	居合道合同稽古会 (水戸)	日本農業実践学園体育館	居 合 道 部
令和 6 年度県内大会審判員養成講習会			水戸市総合運動公園体育館	茨 剣 連	
22	日	居合道五段以下審査会 (秋季)	霞ヶ浦文化体育会館・小体育館	茨 剣 連	
5	土	剣道八段審査講習会	東日本技術研究所武道館		
		剣道・杖道・居合道合同稽古会 (土浦)	新治トレーニングセンター		
6	日	居合道中央審査準備講習会	霞ヶ浦文化体育会館・小体育館	居 合 道 部	
14	月・祝	剣道三段以下審査会 (水戸)	東日本技術研究所武道館剣道場	茨 剣 連	
19	土	剣道三段以下審査会 (つくば)	桜総合体育館		
23・24	水・木	県中学新人剣道大会	石岡市運動公園体育館	中 体 連	
26	土	剣道同稽古会 (水戸)	リリーアリーナ MITO	茨 剣 連	
		居合道合同稽古会 (水戸)	日本農業実践学園体育館	居 合 道 部	
27	日	第 3 回地区・職域対抗剣道優勝大会	ザ・ヒロサワシティ体育館	茨 剣 連	

月	日	曜	行 事	場 所	主 催
11	2	土	剣道・杖道・居合道合同稽古会（土浦）	新治トレーニングセンター	居 合 道 部
	9	土	常任理事会	ウエストヒルズ水戸	茨 剣 連
			居合道合同稽古会（水戸）	日本農業実践学園体育館	居 合 道 部
	10	日	居合道支部対抗・高段者演武大会	新治トレーニングセンター	茨 道 連
			第 41 回茨城県剣道少年団研修会体験・実践発表会	日立十王総合健康福祉センター	
	13	水・木	県高校団体勝ち抜き大会	かすみ防災アリーナ	茨 剣 連
	16	土	剣道四・五段審査会・剣道合同稽古会（水戸）	東日本技術研究所武道館剣道場	居 合 道 部
			居合道合同稽古会（土浦）	新治トレーニングセンター	
23	土・祝	県下剣道優勝大会	内原ヘルスセンター	水 戸 東 武 館	
24	日	令和 6 年度第 2 回杖道講習会	桜川真壁体育館（予定）	杖 道 部	
30	土	武道フェスティバル剣道大会	東日本技術研究所武道館	茨 ス ポ 協	
12	1	日	理事・地区会長合同会議・表彰式	ウエストヒルズ水戸	茨 剣 連
	7	土	剣道合同稽古会（県北）	久慈サンピア日立	
	8	日	令和 6 年度第 2 回杖道三段以下審査会	筑西市シルバー人材センター	
	14	土	剣道・杖道合同稽古会（土浦）	新治トレーニングセンター	居 合 道 部
			居合道合同稽古会（水戸）	日本農業実践学園体育館	
	15	日	授業協力者養成講習会	東日本技術研究所武道館剣道場	茨 剣 連
21	土	第 46 回全国スポーツ少年団剣道交流大会茨城県大会	東日本技術研究所武道館	茨 ス ポ 協	
		剣道合同稽古会（水戸）	東日本技術研究所武道館剣道場	茨 剣 連	
1	4・5	土・日	茨城旗争奪選抜高校剣道大会	アグスタ水戸アリーナ	茨城新聞・茨剣連
	11	土	剣道・杖道合同稽古会（土浦）	新治トレーニングセンター	茨 剣 連
	16	木	県高校剣道新人大会兼全国選抜大会予選（個人）	霞ヶ浦文化体育会館	高 体 連
	18	土	居合道合同稽古会（水戸）	日本農業実践学園体育館	居 合 道 部
	23	木	県高校剣道新人大会兼全国選抜大会予選（男子団体）	東日本技術研究所武道館	高 体 連
	24	金	県高校剣道新人大会兼全国選抜大会予選（女子団体）	東日本技術研究所武道館	
	25	土	三部対抗剣道大会・剣道合同稽古会（水戸）	東日本技術研究所武道館剣道場	茨 剣 連
居合道合同稽古会（土浦）			新治トレーニングセンター	居 合 道 部	
2	2	日	剣道審判法講習会	東日本技術研究所武道館	茨 剣 連
			第 3 回茨城県学年別少年剣道選手権大会	リリーアリーナ MITO	茨 道 連
	8	土	剣道四・五段審査会・剣道合同稽古会（水戸）	東日本技術研究所武道館剣道場	茨 剣 連
	9	日	剣道三段以下審査会（つくば）	桜総合体育館	
	11	火・祝	居合道演武大会	ひたちなか市総合体育館サブアリーナ	居 合 道 部
			剣道三段以下審査会（水戸）	東日本技術研究所武道館	茨 剣 連
	15	土	全日本都道府県対抗剣道大会県予選（男子）	東日本技術研究所武道館	
剣道・杖道・居合道合同稽古会（土浦）			新治トレーニングセンター		
16	日	第 2 回 JX 金属剣道祭	池の川さくらアリーナ	J X 金 属	
22	土	剣道段位・級位審査員研修会	東日本技術研究所武道館	茨 剣 連	
		居合道合同稽古会（水戸）	日本農業実践学園体育館	居 合 道 部	
3	2	日	剣道四～七段受信者講習会・剣道合同稽古会（水戸）	東日本技術研究所武道館	茨 剣 連
	9	日	居合道四段以下講習会（後期）	新治トレーニングセンター	居 合 道 部
	15	土	剣道・杖道・居合道合同稽古会（土浦）	新治トレーニングセンター	茨 剣 連
	20	木・祝	常任理事会・理事会	ウエストヒルズ水戸	
	29	土	居合道合同稽古会（水戸）	日本農業実践学園体育館	居 合 道 部
	30	日	第 66 回全国選抜少年剣道錬成大会	アグスタ水戸アリーナ	水 戸 東 武 館

事務局だより 退任あいさつ



前事務局長
早乙女 恭 哉

三月三十一日付けをもって退任することになりました。

令和二年四月に就任してから四年間、会員の皆様には大変お世話になりました。就任してからコロナ感染症が拡大し、茨剣連の事業がままならない中でも、各種講習会や審査会、そして大会等へ参加を取り纏めていただいた各地区職域の会長様、事務担当者様、各種行事遂行には欠かせない幹事の皆様のご支援ご協力に改めて感謝申し上げます。

この四年間に沢山の思い出があります。特に「剣道日本一」という記念すべき場（松崎賢士郎選手のお全日本剣道選手権初優勝と第七十回全日本都道府県対抗剣道優勝大会初優勝）に立ち会え、感動して身震いしたことは忘れられません。選手の皆様にも感謝です。

これからは一会員として茨城県剣道連盟を応援して参りたいと思っておりますので、どうぞ今後ともご指導のほどよろしくお願いいたします。

新任あいさつ

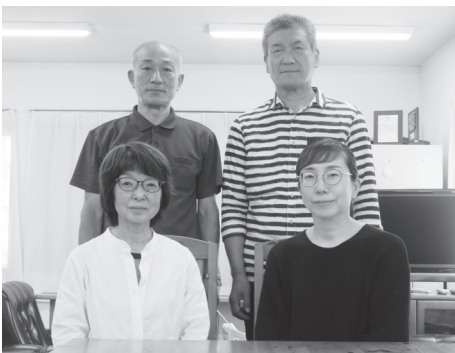
新事務局長
直江 克也

このたびの早乙女局長の退任に伴い、四月一日付けで新たに局長を拝命いたしました直江克也と申します。敏腕の早乙女事務局長の後任者としては、はなはだ心もとない未熟者ですが、剣道、居合道、杖道を愛好している皆様方が、今後も引き続いて、楽しく取り組むことが出来るよう努めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

今回の林先生のコラムでも取り上げられておりますように、感染症対策、熱中症対策、そして準備運動や道具・防具の点検など、引き続き安全安心へのお心配りをさせていただきます。また、茨城県剣道連盟では、令和五年度の重点目標の一つに、剣道・居合道・杖道の競技人口の拡大を掲げました。これを受けまして、普及

委員会で検討して作製したものが裏表紙の「剣道しようよ」ポスターです。普及委員会では、子どもたちの生き生きとした活動風景の写真や語りかけるようなメッセージを入れ込むこととして県剣連や地区の道場等の連絡先も明記しようということになりました。競技人口の拡大は、引き続き令和六年度の重点目標でもあります。このポスターを出来るだけ多くのところに掲出していただくことなどを通して、少しでも多くの方が剣道を実践するようになっていただきたいと思います。皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

事務局員



前列 左から 関根、村松
後列 左から 直江、鈴木

編集後記

茨剣連廣報六十九号発行にあたり、原稿また関係資料をご提供いただきありがとうございました。本年五月の京都大会で高崎先生の百一歳の演武立ち合いが叶いませんでした。来年是非夢を実現させてください。それは、私たちの夢でもあるからです。

裏面のポスターに先生とは九十才はなれた剣士が竹刀を振っています。この一世紀はなれた剣士同士が切れない一本の糸でつながりたいと願います。

その糸を皆で発見確認できれば未来は明るいと思うのです。その上で、会員の皆様の自由なご意見、思いの投稿・寄稿を広報委員会ではお待ちしております。

(村嶋記)

茨 剣 連 廣 報

発行日 令和六年六月

水戸市堀町一六二一三

発行人

一般財団法人

茨城県剣道連盟

広報委員長 村嶋 恒 徳

委員 金 田 重 保

委員 饗 場 千 晶

委員 宮 本 均

印刷 野崎印刷紙器株式会社

剣道しようよ



連絡先

一般財団法人

茨城県剣道連盟

〒310-0903 茨城県水戸市堀町1161-13

TEL: 029-251-8811 FAX: 029-255-6228

MAIL : iba-kend@shore.ocn.ne.jp

<http://www.ibakenren.jp/>



県内稽古会場一覧



茨城県剣道連盟HP